

授業科目

レクリエーション指導法

【担当教員名】 小林敬子	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

<概要>
レクリエーション指導論で学んだ基礎的理論を土台として、ここではレクリエーション援助のための指導方法やレクリエーション計画の作成を実践的・体系的に学ぶことをねらいとする。
基礎的なレクリエーション財の指導法について理解し、福祉や医療の現場でのレクリエーション援助に必要な知識や技術を習得することが求められる。

<学習目標>

1. レクリエーション財に関する基本的な知識をもつ。
2. レクリエーション指導技術の基本について理解する。
3. レクリエーション財の指導法について理解し、福祉や医療の現場でのレクリエーション援助に必要な知識や技術を習得することが求められる。

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1～5	福祉・医療分野でのレクリエーション援助の実際	1. 集団を介したレクリエーション援助に適したレクリエーション財の内容と展開法について学ぶ（うた・ゲーム・ダンスなどを用いて） 2. 個別的なレクリエーション援助に適したレクリエーション財の内容と展開法について学ぶ（うた・クラフトなどを用いて）	講義と実習 ビデオ
6～7	レクリエーション援助者の資質と役割について	レクリエーション援助を行うときの、利用者とのコミュニケーションの大切さについてコミュニケーション・ワークを通して学ぶ。	講義と実習
8～10	レクリエーション計画のすすめ方	レクリエーション活動計画の立て方について作業を通して学ぶ。	講義と実習
11～13	レクリエーション指導演習	状況に応じたレクリエーション援助についてグループ毎に実際に行い、評価をしよう。	演習
14	様々な場に応じたレクリエーション援助の展開法	病院・老人福祉施設・デイサービス施設・在宅訪問介護等におけるレクリエーション援助の現状について知り、問題点と展望を探る。	講義とグループ討議
15	レクリエーションの可能性について	まとめ	講義とグループ討議

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	あそびの世界をつくる —楽しいゲーム指導系の手引き—	宇田川光	全国こども連合会	520円
参考書				
その他の資料	必要の都度配布する。			

【評価方法】 出席・小テスト・定期試験（レポート）から総合的に判断する。	【履修上の留意点】 出席を重視する。動きやすい服装で出席すること。 前期に「レクリエーション指導論」を履修していない学生の履修は不可。
---	---